✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧

✧　新予報技術講習会「数値予報コース」を開催しました

去る 2 月 20 日（水）に気象業務支援センターは数値予報の最新の技術動向について気象庁の第一線の予報官に解説していただく講習会を開催しました。この講習会は一般の方を含め民間気象事業者や気象予報士向けに、毎年開催していますが、今年は数値予報システムの基となるスーパーコンピュータが更新されたばかりとあって、多くの方が最新の成果を期待して、聴講に訪れました。

今回の講習会は当初 2 月 6 日に開催する予定が、天候の関係で 20 日に延期したものです。このため、当日の都合がつかずに参加できなかった方もおられましたが、25 名ほどの方が熱心に聴講されました。

講師は気象庁数値予報課の門脇予報官に務めていただきました。同予報官は数値予報課で四次元変分法の開発に携わっておられ、最新のシステムの中核ともいうべき技術開発について造詣が深い予報官です。

今回の講習では、最新の数値予報システムの基礎的な理解から、応用技術まで幅広く解説していただきました。

特に、これから詳細な地域の予報技術の中核となる局地モデルについて詳しくその予報の特性やポイントについて解説されました。今後、スーパーコンピュータの整備が進み、毎時の出力が得られるようになると短時間予報の大きな力となり、今回の講習が、その時に生きてくることが期待されます。

（気象業務支援センター　振興部）